

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月1日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市神奈川区山内町1-1

氏名 横浜市場冷蔵株式会社  
代表取締役社長 善福 伸一

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	横浜市場冷蔵株式会社 代表取締役社長 善福 伸一				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市神奈川区山内町1-1				
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業			
	中分類	47 倉庫業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,784	kl	自動車の台数	台

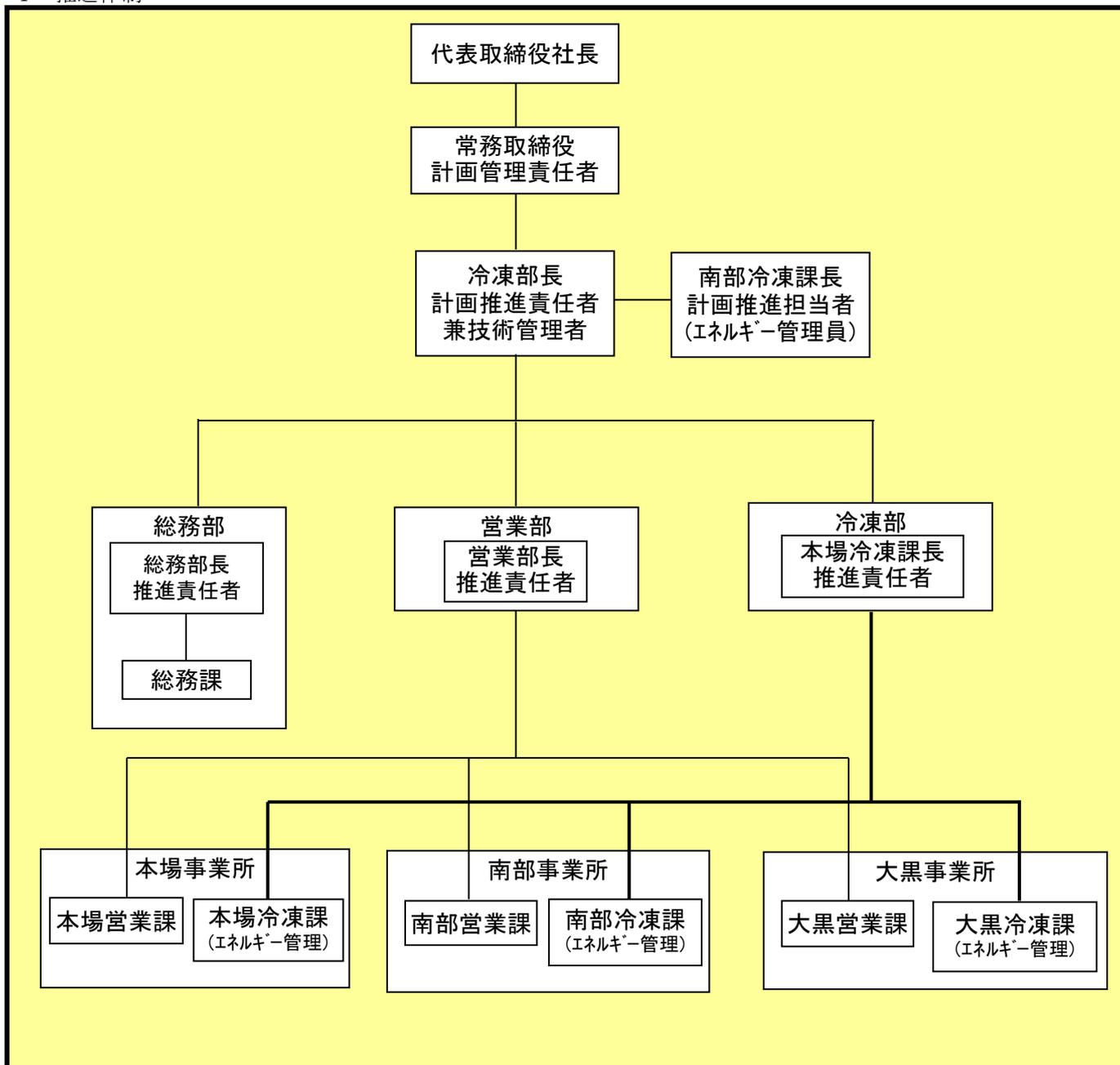
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 経営目標である横浜市中央卸売市場の再編・機能強化や民営化等の課題へ取組、横浜市中央卸売市場の活性化、低温物流の担い手として役割を推進していく考えを守りつつ、エネルギー使用の非効率部分を抽出し、効果的な使用に向けた取り組みを強化する。 当社が使用している市有施設の設備機器は市に更新及び修繕の要請を行う。 冬季・夏季のエネルギー使用（動力系統）の差が大きく、最大負荷に合わせた設備となっているため、効率運用が必要であること、また施設が古く使用変圧器の効率も低いため更新を計画。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 本場事業所第2冷蔵庫・南部事業所（市有施設）・大黒事業所（社有施設）の各変圧器 ②上記①の設備を選択した理由 製品が古く効率が悪い ③設備更新スケジュール 平成30年を目途としていますが市有施設については市に更新要請を行い順次更新中</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	横浜市場冷蔵株式会社 総務部総務課
	所在地	横浜市神奈川区山内町1-1
	閲覧可能時間	平日8:30～16:30
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,858	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,789	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	3,840	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.5 %		削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>・冷凍冷蔵倉庫においては使用エネルギーの大半が電気エネルギーのため、その効率使用がエネルギー使用量の削減につながるが、冷凍機装置の更新等は設備投資金額が大きく会社経営を左右につながるため、長期的な計画となります。この3ヵ年計画においては投資金額とエネルギー費用削減のバランスを重視し現実的な削減を行います。</p> <p>①市有施設の受変電設備内変圧器を順次高効率形に交換を要請中(横浜市)</p> <p>②市有施設機器の冷凍機装置を順次更新を要請中(横浜市)</p> <p>③白熱灯照明を順次LED照明に更新を行う</p>							
事業者全体としての目標等	環境対策は企業の社会的責任であり、CO <sub>2</sub> 排出量削減に向け全社員が一丸となり意識して取り組みます。							
第一年度 (2016年度)	排出量	3,648	t-CO <sub>2</sub>	削減率	5.4 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,547	t-CO <sub>2</sub>	削減率	6.4 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>〈本場事業所〉・第2冷蔵庫棟プレハブ超低温庫を平成28年3月末にて廃止（年間233千kwh削減）・第2冷蔵庫棟冷蔵庫電動扉3ヵ所の更新実施・第2冷蔵庫棟1階荷捌蛍光灯を15ヵ所LEDに更新実施          〈南部事業所〉・冷蔵庫設定温度のスケジュール管理を行い過剰冷却部分の電力削減を実施・冷蔵庫電動扉8ヵ所の更新実施。・冷蔵庫内及び荷捌照明をLEDに交換継続中（社内工事にて月2ヶ目安）          〈3事業所〉・市有冷蔵庫施設の修理要請書を横浜市へ提出          全事業所合計で前年に比べ約400千kwhの電力削減を達成できた</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	3,567	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.5 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,348	t-CO <sub>2</sub>	削減率	11.6 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>〈本場事業所〉・第1・2冷蔵庫棟トイレ改修等により、照明をLEDへ合計78箇所交換          〈南部事業所〉・冷蔵庫設定温度のスケジュール管理を行い過剰部分の電力削減を実施・冷蔵庫電動扉3ヵ所の更新実施。・冷蔵庫内及び荷捌照明をLEDに交換継続中（社内工事にて月2ヶ目安）          〈2事業所〉・市有冷蔵庫施設の修理要請書を横浜市へ提出          〈大黒事業所〉・冷蔵庫設定温度変更により、約94千kwhの電力削減          3事業所合計で前年に比べ約162千kwhの電力削減を達成できた</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	3,621	t-CO <sub>2</sub>	削減率	6.1 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,314	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.5 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	<p>〈本場事業所〉・第1・2冷蔵庫棟、電動扉計5ヵ所更新。・第2冷蔵庫棟受電設備及び高圧ケーブル更新・第1冷蔵庫棟No.1エレベータ更新・市有冷蔵庫施設の修理要請書を横浜市へ提出          〈南部事業所〉・第1冷蔵庫棟荷捌照明204灯及び非常灯19灯をLEDへ更新          〈大黒事業所〉・冷凍機計8台を脱フロン機9台に更新          3事業所合計で前年に比べ約108千kwhの電力が増加してしまった。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>・第二年度に比べ第三年度で排出量が増加したが、計画期間全体では目標排出量よりも大幅に削減することが出来た</p> <p>・排出量削減材料はほぼ使い果した感がある</p> <p>・今後は、冷凍機の更新や節電意識の高揚維持が課題になってくる</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後						t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )						
3,000k1以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k1以上 1,500k1未満	2	3,148	2	2,957	2	2,923	2	2,949
500k1未満	1	710	1	691	1	644	1	672
合計	3	3,858	3	3,648	3	3,567	3	3,621

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	ビル管理法適用外の小規模事務所のみ	非該当	/	—	年度	ビル管理法適用外の小規模事務所のみ	非該当	/	—	年度	ビル管理法適用外の小規模事務所のみ
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	設置無し	非該当	/	—	年度	設置無し	非該当	/	—	年度	設置無し
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	施設無し	非該当	/	—	年度	施設無し	非該当	/	—	年度	施設無し
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/3	—	2023年度	順次省電力照明に更新中千算の関係上、期間延期	実施中	0/3	—	2023年度	順次省電力照明に更新中	実施中	0/3	—	2023年度	順次省電力照明に更新中
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)冷凍機 60/60	—	年度		実施済	(設備の種類)冷凍機 60/60	—	年度		実施済	(設備の種類)冷凍機 60/60	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍倉庫用冷凍機のみ設置	非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍倉庫用冷凍機のみ設置	非該当	(設備の種類) /	—	年度	冷凍倉庫用冷凍機のみ設置
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備無し
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ベヒコ0.32kw 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類)ベヒコ0.32kw 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類)ベヒコ0.32kw 1/1	—	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ベヒコ0.32kw 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類)ベヒコ0.32kw 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類)ベヒコ0.32kw 1/1	—	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	2018年度	第1冷蔵庫棟荷捌他 蛍光灯248台をLED20w型14台40w型190台に更新	南部事業所
2	LED照明	2018年度	第1冷蔵庫棟誘導灯22台をLED10W型13台・20W型6台に更新	南部事業所
3	LED照明	2017年度	第1・2冷蔵庫棟トイレ他 蛍光灯40w78台をLED29.5w78台に更新	本場事業所
4	LED照明	2017年度	庫内照明 Na灯110w24台をLED球40w30台に更新	南部事業所
5	LED照明	2016年度	荷捌及び庫内照明 蛍光灯43w256台をLED29.5w256台に更新	大黒事業所

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	307	東京電力エナジーパートナー株式会社
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	本場事業所第1冷蔵庫棟動力・電灯変圧器を高効率形に更新実施（平成23年） 本場事業所第1冷蔵庫棟庫内照明白熱球をLED球に変更（150w→18w）322灯 南部事業所照明を順次LEDに更新中（平成24年～） 本場事業所の凍氷事業一部廃止及び南部事業所の凍氷事業全て廃止し設備を市へ返還 当社が使用している市有施設の設定機器は、市に毎年更新及び修繕要請を行っている
計画期間内に実施する対策	市有施設の受変電設備内変圧器を順次高効率形に更新を要請中（横浜市へ） 市有施設機器冷凍機装置の順次更新を要請中（横浜市へ） 上記以外の市有施設設備機器についても、更新及び修繕要請を毎年行って行く 照明を順次省電力型照明に更新を行って行く
第一年度実績	3事業所5月1日より9月30日までクールビズの実施 当社が使用している市有施設機器は、更新及び修繕の要請済み 本場事業所節水対策として、冷却塔オーバーフローを見直し、年間約6%の使用量削減 南部事業所節水対策として、冷却塔オーバーフローを見直し、年間約2%の使用量削減
第二年度実績	3事業所5月1日より9月30日までクールビズの実施 当社が使用している市有施設機器は、更新及び修繕の要請済み 南部事業所節水対策として、冷却塔オーバーフローを見直し、年間約3%の使用量削減
第三年度実績	3事業所5月1日より9月30日までクールビズの実施 当社が使用している市有施設機器は、更新及び修繕の要請済み 本場事業所節水対策として、冷却塔オーバーフローを見直し、昨対84.7%へ削減

14 実施状況等に対する自己評価

経営目標である横浜市中心卸売市場の再編・機能強化や民営化等の課題への取組、横浜市中心卸売市場の活性化、低温物流の担い手として役割を推進していく考えを守りつつ、全事業所で前年に比べ約108千kwhの電力削減が出来た。
---